

NHK
ハートネット
でお馴染みの

時男さんと語ろう

in 藤沢&相模原

～ 地域でつながる喜びを ～

40年以上の精神科病棟での暮らしから、地域に移り住み、「60歳からの青春」と日々前向きに過ごされている時男さん。前回は大和市で開催した「アッセンブリアだよ！全員集合！！」日本の精神病院について語り合おう！！に参加くださいました。あれから2年。「皆さんとまた語り合いたい」と2か所での開催に参加くださいます。今回のテーマは「地域で繋がる嬉しさ」。長期化させずに、再入院をせずに安定・安心な退院生活を送るためにできることを中心に、自由に語り合しましょう。

in 藤沢 10/19(土)

日時:2019年10月19日(土) 13時～17時
場所:藤沢市内施設(駅徒歩5～15分予定)
参加費:無料 定員:20～30名ほど(要予約)
※ 飲み物をご持参ください。

in 相模原 10/20(日)

日時:2019年10月20日(日) 13時～17時
場所:ソレイユさがみ
(橋本駅徒歩5分 イオン6F)
参加費:無料 定員:100名(予約不要)
※ 飲み物をご持参ください。

<当日の予定>

- 13:00～ 受付開始&会場設営
- 13:30～ DVD鑑賞会
- 14:00～ 時男さんと語ろう、話そう会
質問ピックアップ・タイム
(途中、休憩あり)
- 16:30～ 片付け、アンケート回収
- 17:00 会場撤収



時男さん：望んだわけではないのに、40年間も精神科病院に入院。退院のきっかけとなったのは、東日本大震災。症状も安定し、地域で暮らす能力があるにもかかわらず、40年もの長い間入院。退院後も60歳を過ぎて自分の人生を取り戻し、「60歳からの青春」と日々前向きに再び歩み始めた。NHKハートネット、精神保健に関するシンポジウム、講演会などでゲストスピーカーとして出演。現在はピアサポーターとしても活躍中。



- ！！募集中！！
- ① 今回も含め、企画・実施に共催いただける団体、個人の方々
 - ② 前日までの準備や当日のお手伝い、片付けに協力いただける団体、個人の方々

問い合わせ先、藤沢参加のみ要事前連絡：もざいくハウス mosaiclife2014@gmail.com 090-2096-4835

共催：あしたば会、ひびき、社会福祉法人県央福祉会、患者と家族、地域が望む精神保健を作る会、カラココやまと、もざいくハウス、(順不同)

協力：みどり会(家族会)、ポルト・ナット会、ほーぷ、お互いさん会有志、

共催団体・個人紹介

精神保健ボランティア ひびき

精神障がい者との交流や相談、居場所づくりをしています。フリースペース「ほっとハウス」・レディースクラブ「ひまわり」・うつの集い「ラベンドー」・おしゃべりサロン「すずらん」・フットサル「あしたばFC」の活動。市内での福祉や市民交流のイベントへの参加、精神保健ボランティア養成講座の開催。1992年設立から長年に亘る活動の実績が認められ、2013年（平成25年）、厚生労働大臣賞を受賞。

相模原市精神障がい者仲間の会

あしたば会

“ひとりぼっちをなくそう”をスローガンに掲げ、自分たちの居場所作り、つながり作り、当事者の声“仲間の存在が生きる力になった”を社会に発信。毎月の運営委員会とBBQ大会・季節のイベント開催、居場所や語り合いの場の提供、普及啓発講演会の毎年開催。スポーツ活動として「あしたばFC」と「あしたば卓球部」がある。1993年設立。

家族会
クリニック
など

社会福祉法人県央福祉会

地域での安定した生活を送るためには、福祉職員を含めた専門職の関わりだけではなく、地域市民の皆さんの理解と、日々の安心・安全を実感できる関わりが大切です。その関わりの中、連携を構築し、必要な取り組みを行っています。既存のグループホーム、ショートステイ、レスパイトサービスの提供を軸に、今後も「地域生活定住化センター(仮称)」の実現に向けて、進めていきます。

患者と家族、地域が望む精神保健を進める会

患者だけではなく、家族や専門職、また地域の人たちと交流をしながら、お互いの悩みや願い、また主治医や家族との関わり方、その人らしさを取り戻すための関わり方、副作用や減薬・断薬など薬の知識や薬以外の快復について共有する機会を作っています。また他国の精神保健の取り組みを学び、人権の点からも日本の精神保健の在り方、日本の福祉との違いなどについての意見や情報の交換もしています。

もざいくハウス

「ただいま」「おかえりなさい」環境作りを目指しています。社会的養護(児童養護施設入所中、退所後)、片親家庭、心身のヘルスケア、外国市民などの関わりの中で、退院や退院後の相談、レスパイト相談、就労準備や就労支援、じぶん作りサークルなどを開催しています。

(カラココやまと-大和市)

カラダとココロのセルフケアのために交流、勉強会、居場所づくりなどの、また生活訓練(自立訓練)も少しずつ行っています。